



平成 21 年 10 月 15 日

各 位

上場会社名 株式会社ネクスト  
代表者名 代表取締役社長 井上 高志  
(コード番号 2120 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 浜矢 浩吉  
(TEL. 03-6204-4064)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 14 日の決算発表時に公表した平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の連結および個別における業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 連結業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 4,945	百万円 202	百万円 202	百万円 74
今 回 修 正 予 想 (B)	5,077	797	811	436
増 減 額 (B-A)	132	595	609	362
増 減 率 (%)	2.7%	294.6%	301.5%	489.2%
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	4,132	482	490	210

2. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間 個別業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 4,237	百万円 266	百万円 281	百万円 159
今 回 修 正 予 想 (B)	4,397	853	870	510
増 減 額 (B-A)	160	587	589	351
増 減 率 (%)	3.8%	220.7%	209.6%	220.8%
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	3,729	637	658	286

### 3. 修正の理由

(連結)

[売上高について]

平成22年3月期第2四半期連結累計期間のセグメントごとの連結売上高業績予想数値は以下のとおりであります。

セグメント別売上高比較	不動産ポータル事業	地域コミュニティ事業	賃貸保証事業	その他事業
前回発表予想(A)	百万円 4,450	百万円 15	百万円 324	百万円 155
今回修正予想(B)	4,514	15	334	211
増減額(B-A)	64	—	10	56
増減率(%)	1.4%	—	3.1%	36.1%
(ご参考) 前期実績(平成21年3月期第2四半期)	3,822	12	95	202

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

上記のとおり全事業にて当初予想を上回る見通しとなっております。

売上高については、主に、不動産ポータル事業の内「HOME'S 賃貸・不動産売買」ならびに連結子会社の株式会社レントーズを中心とする、その他事業において当初予想を上回る見通しとなっております。

一方で、不動産ポータル事業の内「HOME'S 新築分譲マンション」においては、新設住宅着工戸数が平成20年12月以降、9ヶ月連続で前年同月を下回って推移する(国土交通省調べ)など、依然として厳しい状況が続いていることなどにより、当初予想を下回る見通しです。

具体的には、当社主力サービスである「HOME'S 賃貸・不動産売買」の売上高は「加盟店数×加盟店当たり売上高」にて構成されております。この内、加盟店数に関しては当初予想を下回る見通しであるものの、加盟店当たり売上高に関しては、当初予想を上回って推移してまいりました。その結果、同サービスの売上高は当初予想を上回る見通しとなっております。賃貸、不動産売買(中古売買)それぞれの状況に関しては以下のとおりです。

#### <賃貸>

加盟店数については、首都圏を中心とした新規獲得が堅調に推移しております。また、当期初より新設した顧客フォロー部署による退会抑止策などが奏功し退会率は改善してきております。

加盟店当たり売上高については、首都圏・大都市圏を中心とした営業活動や、オプションサービスの拡販、新たなオプションサービスの提供開始などにより、当初予想を上回って推移してまいりました。

#### <不動産売買>

加盟店数については、新築分譲マンションの供給戸数減少に伴う、流通物件（中古物件）の低迷などの影響を受け、新規獲得が伸び悩んでおります。一方賃貸同様、顧客フォロー部署による退会抑止策などが奏功し退会率は改善してきております。

加盟店当たり売上高については賃貸同様、首都圏・大都市圏を中心とした営業活動や、オプションサービスの拡販、新たなオプションサービスの提供開始などにより、当初予想を上回って推移してまいりました。

以上の結果、上記のとおり当第2四半期累計期間（以下、当第2四半期）の連結売上高の業績予想を5,077百万円（対当初予想比+132百万円）に修正いたします。

#### [利益について]

利益面では、広告宣伝費の一部期ずれによる未消化や、中途採用計画の遅れ、上期に予定しておりました基幹業務システム改修や、地域コミュニティサイト「Lococom」のモバイル開発などの時期を下期へ変更したこと、およびその他経費における経費節減努力により、当第2四半期の販売管理費は4,158百万円（対当初予想比△435百万円）となり、上記のとおり連結売上高の業績予想を踏まえた結果、営業利益797百万円（同+595百万円）、経常利益811百万円（同+609百万円）、四半期純利益436百万円（同+362百万円）に修正いたします。

なお、セグメント別の業績やサービス別売上高などの詳細につきましては現在集計中であり、10月30日（金）に予定しております決算短信や同日に発表予定の決算説明資料にて開示させていただきます。

また、毎月20日に発表しております「HOME'S 賃貸・不動産売買」および「HOME'S 新築分譲マンション」の売上高・各種指標に関しては10月20日（火）に開示予定です。

#### (個別)

個別業績予想については、上記連結における理由のうち、子会社である株式会社レントーズの記載を除いたものと同様の内容により、平成22年3月期第2四半期累計期間の個別業績予想を売上高4,397百万円（対当初予想比+160百万円）、営業利益853百万円（同+587百万円）、経常利益870百万円（同+589百万円）、四半期純利益510百万円（同+351百万円）に修正いたします。

#### 4. 平成22年3月期通期業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）について

通期業績予想については、当第2四半期において、売上高は当初予想を上回って推移しており、利益に関しても大幅に当初予想を上回る見通しとなっております。しかしながら、期ずれにより未消化となっている費用は下期に発生する予定であることや、売上高に関しても、賃貸は好調に推移しているものの、新築分譲マンション市場の低迷、およびそれに伴う流通物件（中古物件）の減少による市況悪化の状況を鑑み、現在においては前回発表予想のままとさせていただきます。今後、業績修正が必要となった場合には改めて速やかに開示させていただきます。

(注) 業績予想に関する留意事項

上記の予想は、現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に関する仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因により上記の予想とは異なる可能性があります。

以 上